

研修会参加報告

JFA U-19 ブラッシュアップ講習会 参加報告

----- 「講習会に参加して」 サッカー2級審判員：足立 正輝 -----

私は、11月24日から27日の間、静岡県の時之栖裾野グラウンド、帝人アカデミー富士でJFAが主催する講習会に参加してきました。

この講習会はナショナルトレセンU-14とU-13を決める地域対抗戦です。私達審判員はU-14、U-13の試合を使って審判をしました。

大会では、U-14は11人制ゲームでU-13は8人制ゲームで試合を行い、審判員はこれらの試合を4日間1人制審判で担当してきました。

今回の講習会のテーマは「スタートライン」です。「教えてもらおう」「知っている」「今までの姿をみせよう」じゃなく、ここでは新レフェリング、つまり「いつも通りのことをやるのではなく、チャレンジし、殻をやぶれ」を考え、この4日間研修をしてきました。

1 日目

11.24

最初の研修会ではまず、「サッカーとは？・審判員の役割とは？・仲間とは？」を考えどういった意味なのか、審判員の役割はサッカー精神を守るため、仲間とはサッカー仲間（審判もプレイヤーも含めて）話し合いました。

次の講義は「事実」をテーマに南さんから講義をしていただきました。この講義は事実を見極めるためには、正しい情報を得るそれに必要な情報は何かを話してもらいました。

1日目は講義で終わりとなってしまいましたが、判定するのに何が必要で何を見るのかを改めて見直すことができました。

2 日目

11.25

2日目からは各カテゴリーの試合を担当し、この日は2試合を担当。

私は最初にU-14の北信越 vs 関東の試合を割り当てていただきました。この試合が最初の試合でとても緊張しましたが、徐々に緊張がほぐれていき、60分間の1人制審判をやりきることが出来ました。反省会をした後に石山さんからも沢山のアドバイスと指導、指摘をもらいました。

2試合目は、U-13の東海 vs アカデミーの試合を担当しました。反省会で言われたこと、石山さんから言われたポジショニングと角度を意識して40分間やりました。試合が終わったあと試合を振り返ってみると、いい角度で見ることができていたと思います。

講義は「競技者をプレーに集中させるには」をテーマに片山さんから講義をしていただきました。どこに立てばいいのか、コーナーキック時にはどこに立ってみるかで選手のする行動が変わってくる事がわかりました。

2日目は審判をすることができ、いろいろ経験ができたので良かったです。

3 日目

11.26

U-14の関西vs中国の試合を担当しました。この試合では言われた課題を意識しつつ、この前してきた事をもっと良くしようと意識してみました。試合が終わり新しい課題を発見することができました。

講義の時間においては、技術委員会との交流・協調を行いました。ここでは、普段技術の方が考えていること、審判員が考えていることを話し合うことができたので良かったです。

次に「コンタクトを正しく見極めるには」を布瀬さんから講義していただきました。審判員は「フェアでスピーディーでタフなプレー」を、技術は「スピーディーでタフでフェアなプレー」を、といった考え方が違うので、見るところ、見ていいところの考え方が変わってくることに気付きました。

私達審判員で「サッカーと審判員」をテーマに4つのグループに分けてプレゼンをしました。どのグループも悩んだことがサッカー『と』審判員なのでサッカー以外の審判を調べて、サッカーに結び付けました。初めてのプレゼンテーションだったので苦労しましたが、いい経験をする事ができました。

4 日目

11.27

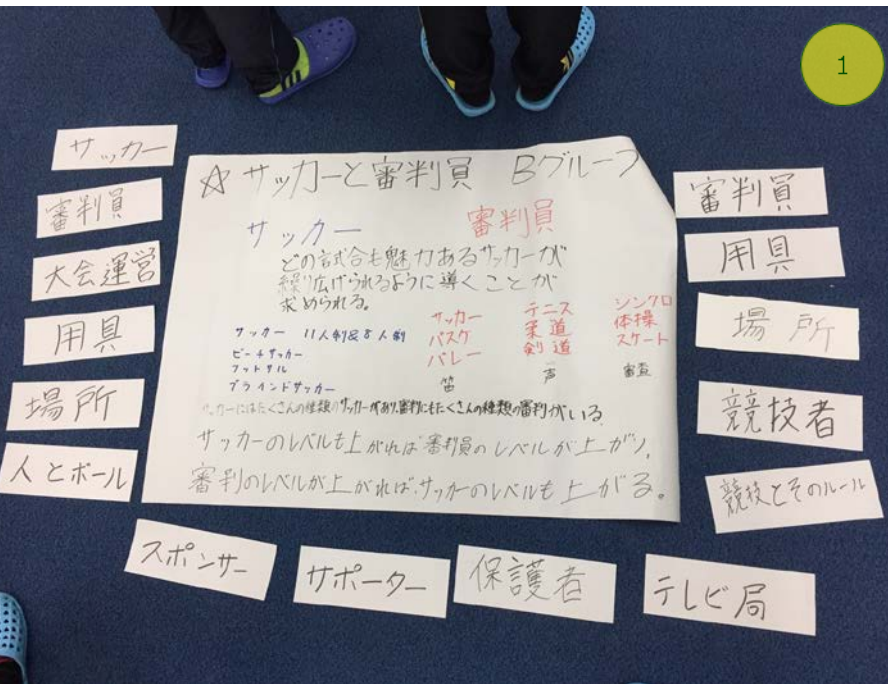
U-13の6位の順位決定戦の試合を担当しました。やってきたポジショニング、見る角度、講義で聞いた話を意識して、選手が気持ちよくプレーできるように頑張りました。

その後、1位を決める試合を観戦し、すぐくレベルの高い試合だと感じ、このような試合を担当してみたいと思いました。

全日本少年サッカー大会以来、各地域から参加してきた審判員との再会が嬉しかったのですが、みんな審判のレベルが上がっていて、強く刺激を受けたと同時に仲間でもあり、ライバルでもあることを実感しました。

最後になりましたが、このような素晴らしい研修会に参加する機会を与えて頂き本当にありがとうございました。

これからもレフェリングの向上を目指していきたいので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



- ① プレゼンテーション：色んな視点からサッカーを考える
- ② 富士山を背に、レフェリーとして高みを目指す。
- ③ 参加審判員（上段右から2番目が足立審判員）